

ちやらんぽらん

# かわら版

文芸の秋、読書の秋

届けたい、親への思い

心がホツコリする

ほんとうのお話

チャランポランエッセイ

難聴手術の顛末

2020

6号

令和2年10月1日

## チャランポランの会は何をする会？

チャランポランの会は、シニアを応援する会です。

①会報誌「かわら版」を通して、シニアの方々を元気にしていきます。②会員同士の交流の場を提供し、楽しみや生きがいを持てるようにします。③シニア向けの講演会、イベントを開催していきます。

## 会員になるには？

原則シニアの方であれば、どなたでも会員になれます。別紙の入会書に必要事項を記入し、チャランポランの会まで郵送して下さい。なお、入会書がない場合は ① 氏名 ② 住所 ③ 電話番号 ④ かわら版を何でお知りになったか ⑤ 出身地 ⑥ Eメールアドレス (オプション) ⑦ 生年月日 (オプション) をお書きの上チャランポランの会まで郵送してください。Eメールでお申し込みの場合も上記の内容 (①～⑦) を忘れずにお書き下さい。

【郵送先】 CharanPoran USA  
22301 S. Western Ave. Suite 104  
Torrance, CA 90501

【Eメール】 charanporanusa@gmail.com

現在、会費は無料です。もしお気持ちがおありであれば、お志のドネーションは喜んでお受け致します。金額の多寡は問いません。頂いた浄財は印刷費、郵送費等に使用させていただきます。法人口座がございませんので、チェックの宛名は**KINICHI TORII** 又は **AKIRA TSURUKAME** お願い致します。今までドネーションして下さいました皆様に心よりお礼を申し上げます。

## チャランポランの会の特典

1年に4回(1月、4月、7月、10月)発行される会報誌「かわら版」が届きます。講演会やイベント、その他シニア向けの情報をお知らせいたします。

### 「かわら版」への投稿方法

- 川柳、短歌、俳句：お一人1句 ●読者の声：200字以内
- エッセイ：800字以内

住所・氏名・年齢・電話番号を明記。郵送、又はEメールでお送りください。なお、紙面の都合で内容を割愛、又は一部編集させていただく場合もございますのでご了承下さい。なお、投稿が多数の場合は、チャランポランの会で選定させていただきます。

### 「かわら版」へのご意見ご感想

ご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。CharanPoran USA迄郵送いただくか、又はEメールでお送り下さい。今後の会の参考にさせていただきます。

## 会 の 名 称 『チャランポラン』

私達、発起人は二十代から六十代まで長い間、一応真面目に仕事し、子供を育て、一社会人・一家庭人としてそれなりの責任を果たして来ました。ふと気が付いて見ると、もう高齢者です。昔の元気はなく、体力も落ちました。これからの人生をいかに生きるかと考える時、やはり明るく元気に過ごしたいものです。それには今までの常識の枠を離れ、自由な新しい発想や考え方で生きるのが良いのではと思います。

その理想が「チャランポラン」です。一見、「真面目や責任」とは対極にある考えのようですが、今まで以上に豊かに生きるために必要なキーワードかなと思います。認知症防止のためにも、是非皆さん、一緒に楽しく、チャランポランに生きましょう！

## チャランポランの会

- 発起人  
鳥居欣一 (故)雲田康夫  
鶴亀彰 高山秀男
- 運営委員  
鳥居欣一 鶴亀彰  
土田三郎 宮田慎也
- かわら版  
北村垂矢 佐伯和代

### CharanPoran USA

22301 S. Western Ave. Suite 104  
Torrance, CA 90501 USA

☎ 310.347.7300

(メッセージを必ずお残し下さい。)

Email: CharanPoranUSA@gmail.com

www.CharanPoranUSA.com



シエラ高地のレイク・ベイスン  
(デ・ヤング美術館)

# 心がほっこりする

## ほんとうのお話

### 収容所内の美術学校

小圃千浦（おばた・ちうら）は1885年に岡山県で生まれ、1975年にカリフォルニア州のバークレーで亡くなりました。九十歳でした。七歳から墨絵の勉強を始めましたが、その後、西洋画も勉強し、当時、「絵の天才」とも評されたそうです。十七歳の時、さらなる飛躍を求め、欧米での絵の勉強を目指しました。

1903年、シアトルに上陸し、すぐにサンフランシスコに渡りました。二年後のパリ行きの資金を稼ぐべく、白人家庭での住み込みバイトを始めました。しかし、次第に米国の自由闊達な雰囲気を楽しみを見出し、パリ行きを断念します。地元

邦字新聞社で挿絵画家として働きます。絵を描き続けました。ヨセミテ渓谷やシエラネバダ山脈の自然の美しさに感動していた彼はそれを日本画の手法で描き、大きな評価を受けました。

ラピスラズリを砕いて作った顔料を絵具として描いた深く美しい青は「オバタ・ブルー」と、今日でも呼ばれているそうです。1932年には彼の斬新な絵と発想に魅せられたカリフォルニア大学バークレー校の芸術学部の美術教授に乞われ、同学

部で講師として日本画を教えるようになり。1939年には助教に昇任します。芸術家としての小圃の人生は1912年に結婚した福岡県出身の妻、小橋春子との間に生まれた二男二女に囲まれ、大きく花開きました。

しかし、そこで真珠湾攻撃が起きました。小圃の家族も最初はサンフランシスコの南にあった集合場所へ送られました。そこは元厩舎で馬のエサや糞の匂いがする場所でしたが、彼はめげず、そこで1942年4月に美術のクラスを始めます。「いかなる状況下にあっても、教育は食料

同様に重要だ。なかでも芸術は、もっとも建設的な教育だ」というのが彼の信念でした。全部で900人の日系人が学び、5月には戦時中にも拘わらず、彼らの描いた絵の個展も行いました。同年9月にはユタ州のトパーズの収容所に移されましたが、そこでもすぐに所長に交渉し、美術のクラスを始めました。協力者を応募し、彼も含め16人の先生が23のコースで、一学期600人を教えたそうです。延べ5千人が学んだそうです。卒業生の中からは後にプロの絵描きになる人も出ました。

現在ニューヨークで活躍する墨絵画家の山本紅浦（やまもと・こうほ）さんもその一人です。「小圃先

生は財産を根こそぎ奪われ、将来の不安に打ちひしがれる収容所の皆に、日本人としての誇りを持つ、顔を上げ、背筋を伸ばそうと言いつけていました」と語っています。戦争が終わり、彼はまたカリフォルニア大学バークレー校に戻りました。

1948年には名誉教授となり、彼と妻の春子さんを記念して造られた日本庭園とゲートが今も見られます。春子さんはサンフランシスコで初めて生け花教室を開いた人でした。大学退職後も彼は毎年ヨセミテを訪れ、描き続けました。彼の作品は現在Smithsonian American Art Museumなどに154枚が保管・展示されています。自然を敬愛し、芸術を愛し、日本を愛し、米国を愛した小圃千浦の一生でした。



南天  
OsakaPrints.com



文責 鶴亀 彰

# 行動するシニアをめざして！

コロナ禍は一向に収まる気配を見せません。自宅で過ごす時間が多くなると、私はどうしてもテレビと読書になつてしまいます。前買った本を棚から取り出して再読する機会も増えました。本号の特集「読書の秋」に紹介したステイブ・鮫島さんの『天皇を救った男―伊丹明』をチャランポランの会をお手伝いして下さっている佐伯さんが持つて来てくれました。460ページを超える大作で、読破するのに時間が掛かりましたが、実に素晴らしい内容で、アメリカの日系の歴史も勉強できる格好の著書です。鮫島さんは元ロサンゼルスの日系テレビ局でプロデューサーをされていた方で、私も以前お目に掛かったことがあります。こんな立派な本を書かれていたとは知りませんでした。正にお薦めの一冊です。他にも、私達の身近には、渡辺正清さん、鶴亀彰さんなど、素晴らしい作家の方々が居られます。

## 《日系二世ノーマン・ミネタ》

昨年、日本人アメリカ移民150周年を記念し、ロサンゼルス・リトル東京の全米日系人博物館で祝賀会が催されました。幸運にも渡辺利三財団(交換留学生援助)の渡辺さんよりご招待を受け、私も出席させて頂きました。祝賀会の主賓は日系二世ノーマン・ミネタさんで、彼は二人の歴代米大統領(クリントン、G・W・ブッシュ)の閣僚を務められた方です。ミネタさんのお父様は私と同じ静岡出身であることを知り、妙に親しみを感じました。ミネタさんについて書かれた『十歳、ぼくは突然「敵」と呼ばれた』(汐文社)という本を後日見つけ、十三歳の孫に贈りました。漢字にルビがついているので小学生でも読める本です。この本を渡した後「私達がアメリカで平和で幸せに暮らせるのも、ミネタさんをはじめ、日系人の先達の努力のお蔭」とEメール



著者：ウォーレン  
アンドレア  
訳：もりうち すみこ  
(汐文社)

で伝えました。十三歳の彼がどんな気持ちで読んでくれたのかはわかりませんが先達に感謝する人になってほしいと願っています。

私の父は、私が幼い時軍人として満州に赴任しており、家にいることは滅多になく、又、家に居ても寡黙な人で子供の面倒を見るようなこともありませんでした。そのため、父子の関係は至って希薄でした。では、自分と息子はどうと、私は仕事が忙しく、子育てのことはワイフに任せっぱなしで、状況は違うにせよ、父と同じでした。そのようなわけで、せめて孫には何か残しておきたいと思いい、思いついたことを、Eメールに託して孫に出すようになった次第です。

鳥居 欣一



## 《第二の人生》

私事ばかりで恐縮ですが、この7月で満八四歳になりました。還暦(六〇歳)を過ぎると再び〇歳に還るという意味ですから、現在の私は第二の人生では二四歳、青年期真っ只中です。これからも夢を捨てず、健康を維持して明るく楽しく生きようと思っています。

人生で大切なのは、いつまでも「感動する心」を持ち続けることです。人は年を重ねると共に好奇心が薄れていきます。アマゾンの創業者ジェフ・ベゾス氏は「八〇歳になった時あなたの胸に最も深く刻まれているのは、あなたが決断してきた数々のことだ。何を選ぶか、その決断こそがあなた自身をつくっていく」と母校プリンストン大学のスピーチで述べています。私自身の人生においても、様々な場面で様々な決断をしてきました。その結果が今の私です。「後悔先に立たず」といいます





## 僕の本棚

本棚に書籍が入りきれないほどになってきたので整理することにしました。整理している最中に、懐かしい本が出てくるとページをめくって読み出したりしてしまうので一向に捗らず、前より乱雑のままになってしまいました。

### 「女帝小池百合子」

石井妙子 著 / 文芸春秋社



東京都知事として今を時めく政治家、小池知事の半生物語です。著者は丁寧取材を重ね、克明に描いています。女性だから可能なのかと思う節が随所にみられます。政治家は、正義だけでは生きて行けない世界かもしれません。トランプ大統領しかり、支持者と反対する人が極端に違うように…。しかし、学歴などは真実を述べるべきです。この点に置いて疑問が残りますが、小池氏を知る上ではおすすめです。

東京都知事として今を時めく政治家、小池知事の半生物語です。著者は丁寧取材を重ね、克明に描いています。女性だから可能なのかと思う節が随所にみられます。政治家は、正義だけでは生きて行けない世界かもしれません。トランプ大統領しかり、支持者と反対する人が極端に違うように…。しかし、学歴などは真実を述べるべきです。この点に置いて疑問が残りますが、小池氏を知る上ではおすすめです。

### 「石原莞爾と満州帝国」

歴史読本編集部編

対談 松本健vs佐野真 / 新人類文庫



なぜか私はいつも満州帝国に魅せられます。満州帝国を構想し、作り上げた男、石原莞爾は、志半ばでその任から降ろされます。歴史では、日本国軍人の暴走の末、この国家は僅か13年で消滅したとありますが、五族協和、王道楽土の建国のスローガンはアメリカ合衆国の建国より理念を感じます。日本主導でなくとも、もし満州帝国が存続していたら…と想像が膨らんでいく内容でした。

なぜか私はいつも満州帝国に魅せられます。満州帝国を構想し、作り上げた男、石原莞爾は、志半ばでその任から降ろされます。歴史では、日本国軍人の暴走の末、この国家は僅か13年で消滅したとありますが、五族協和、王道楽土の建国のスローガンはアメリカ合衆国の建国より理念を感じます。日本主導でなくとも、もし満州帝国が存続していたら…と想像が膨らんでいく内容でした。

が、正直なところ、人生を振り返るともう少し「勇氣」があったなら・・・と思っております。「勇氣」が足りなかったのは「保身」が邪魔をしていたからでしょう。人生一度きりなのに、と今さらながら思います。

### 《元氣なシニアを目指して》

私が起業した時、応援して下さった竹中征夫さん（竹中パートナーズ社代表）と久しぶりにお会いしました。竹中さんは79歳になった今でも、世界狭しと飛び回っています。「世の中に役立つ間は頑張る。全てにベストを尽くしているから後悔なんてしたことがない」と言い切りました。こんなにはつきり言えるシニアが世の中にはいるのです。

彼は POSITIVE, PROACTIVE, PASSION の3つを信条としていると話してくれました。久しぶりに竹中節を聞き、勇氣をもらったひとときでした。

### 《自分の健康は自分で管理》

先進国の多くは高齢化社会を迎え、日本においては超高齢化社会です。そのため、国家の医療福祉費の不足は必至です。日本の医療制度は世界に誇れる素晴らしい制度ですが、益々拍車がかかる少子高齢化社会に国は対応できるでしょうか？ 二、三年後には団塊の世代と言われる人達が七五歳を迎えるのです。医療、介護の点において問題が生じるのも時間の問題ではないかと危惧しています。では、私たちシニアにできることは何でしょうか？ それは私たちシニアが「自分の健康は自分で管理する」ということに真剣に取り組むことです。先ずは、生活習慣を見直してみましよう。



# ジャーナリストの目



ジャーナリスト  
北岡 和義

読売新聞記者、国会議員秘書を経てフリージャーナリスト。ロサンゼルスで邦人向け放送局「JATV」を設立。帰国後、日本大学国際関係学部特任教授を経て現在に至る。著書に『13人目の目撃者』『海外から1票を～在外投票運動の航跡』『政治家の人間力』などがある。

## 「おしん」に込めた作者の思い

### 読み落としした今、コロナ来襲

驚異の視聴率 「おしん」

37年前、NHKの連続テレビ小説「おしん」を想い出す。

アメリカから27年ぶりに帰国したのが2006年8月。予期しなかった日本大学国際関係学部の教員というポストをもらった。子供のころから教職に憧れていたのだから非常勤講師という学部長の申し出を有難くお受けした。1年半後、教授に採用すると言われた。大学の教員は希望者が殺到、なかなか採用されないというのに。ラッキーだった。

特任教授となり富士山が真正面に見える研究室をもらって、熱海のリゾート・マンションから車で熱函道路経由、三島のキャンパスへ通った。

以降14年経つ。大きく変わったのは日本人そのヒトではないか。いま日本に新型コロナと対決できる指導者がいない。わが日本の不幸である。



著者 橋田寿賀子  
小学館文庫

性の根性物語である。でもドラマの真の狙いは違った。作者の橋田寿賀子を書く。

「私の根底に流れているのは、戦争と平和です。疑うことも知らず、同じ価値観を誰もが信じた時代の恐ろしさを、若い人たちに伝えることが、私のひとつの義務であり、自分の真心を生かすことだと思っっているのです」（「おしん」の心 小学館文庫版）

ドラマにはこの反戦平和への祈りが通奏低音のように流れている。おそらく今、「おしん」が放送されたら驚異的な視聴率は取れないと思う。2013年、劇場映画として「おしん」はリメイクされた。映画は根性物語にフォーカスしたが、観客動員はできなかった。

連続テレビ小説「おしん」の冒頭、大型スーパリーの開店披露の晴れ舞台に肝心のおしんの姿が見えない。大騒ぎになる。

大学生だった孫が気づく。彼は山形の奥地の温泉に行き、おしんを見つけた。おしんが奉公に出る前、母・フジに会いに行った現場だった。おしんはつぶやく。

「どこで間違ったのかねえ。あなたにお金儲けに夢中になって。おばあちゃん、なにか失ったものがある

ような・・・」

95歳の橋田が現代の日本人に問いかける。大根メシを食べて今の隆盛を築きあげた日本の現代史が金儲けにひた走る俗物になっていることの醜怪さ。戦争の時代に流された女の半生を振り返る。お金には苦労しなくなったが、何か失ったものが大きいような気がしてならない。スーパリーを大型化しさらに儲けようと夢中の息子に自分の犯した間違いを考える。

それは戦後、高度経済成長政策の波に乗り競りあつた日本人そのものではなかったか。

テレビの情報番組の劣化が激しい。ぼくもLAでささやかなテレビ番組の取材、制作現場にいた。スタジオで語り、現場でマイクを持って日本へ生中継、TBSやフジTV、TV朝日などへニュースを送り続けた。

ぼくらは「民主主義」の成長と限界に気づくべき時代を迎えている。新型コロナウイルスに攻められているお盆に痛切に感じさせられた。78歳の高齢と肝臓ガン、そこへコロナ禍、そして35度を超す酷暑、「要注意」と言うが、ぼくの場合、要注意・要・要注意が必要、自室に引っ込んでいるしかない。そのため足の筋力が細り、体力が減退した。

最早、自力で闊歩さえ出来かねる哀れな後期高齢者である。





# B 級グルメ食べ歩記



## Lee's Kitchen

2880 Pacific Coast Hwy  
Torrance, CA 90505  
Tel: 310.539.1838



宮田 慎也

Torrance市のPacific Coast Hwy沿いにある中華レストランです。以前は、上海という名前で20数年やってましたが、5年ほど前に経営が変わり、Lee's Kitchenとなりました。Ramada Innの敷地内にありますので、パーキングはRamada Innにしてください。お店の外観は古びていて冴えないのですが、内装は新しく、綺麗です。グループ用の部屋も20人用と10人用とがあり、使用料は無料です。アルコール類は置いていませんので、お酒を飲まれる方は持参してください。持ち込み代は無料な上、グラス、氷等も無料で用意してくれます。

中華の定番のマーゴ豆腐、ホイコーロ（回鍋肉）、クンパオチキン、ショウロン包等は、もちろん皆美味しいですが、今回は、当店でしか食べられないようなユニークかつ美味しい料理をご紹介します。

### ① Braised Beef Brisket Radish \$14.95 大根と牛肉の煮込み

鉄なべに入って出てきます。大根と牛肉、両者柔らかく煮込まれていて優しい美味しさです。大根はいいですね。



### ② Crispy Fish Fillet with Dry Garlic \$14.90

白身魚のフライにガーリックが山ほどかかっています。このガーリックを魚のフライにまぶして食べるとガーリック風味がなんとも言えない美味しさです。ガーリック好きにはたまらない一品です。



### ③ Specialty Pork Pump in Brown Sauce \$25.95

豚の骨付きの塊を醤油で甘辛く煮込んだものです。お肉が柔らかくて豚の角煮のような感じですが、大きな塊ですので、4人以上で行かれた時に頼まれたら良いと思います。名物料理ですので開店前に多量に仕込んでいます。



### ④ Mongolian Beef \$11.90

これも鉄鍋に入って出てきます。ネギ好きな方にお勧めです。鉄鍋に入っている料理は他にもあり、これらは前身の上海時代から引き継がれている料理ですね。



### ⑤ Fried Shredded Roll \$2.50

ちょっと甘味のある揚げパンです。練乳をつけて食べても美味しいのですが、私は、これでマーゴ豆腐をすくって食べるのが好きです。揚げたてが熱々で出てきて、しかもクリスピーで美味しいです。



リーズキッチンでは仲間とワインなどを持ち込んで楽しくおしゃべりするのに最適なお店ですので是非ご利用ください。

# 文芸の秋 読書の秋

カリフォルニア州に関係のある日系、日本人の方々の著書をご紹介します。



著者：雲田 康夫

- 豆腐バカ (集英社文庫)  
～世界に挑み続けた20年～
- 豆腐バカ世界に挑む  
～They Call Me "Mr.Tofu"～  
(Kobunsha Paperbacks)



著者：竹中 征夫

- 伸びる企業 伸ばす戦略  
～環太平洋時代に求められる  
国際ビジネス感覚～  
(経済界)



著者：鶴亀 彰

- 日英蘭 奇跡の出会い  
～海に眠る父を求めて～  
(学習研究社)
- 鎮魂の絆 (学習研究社)  
～伊一六六潜水艦～



著者：鳥居 欣一

- アメリカで社長をやってみないか (ダイヤモンド社)  
～ロサンゼルスからの求人広告～



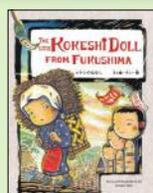
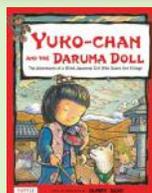
著者：藤本章

- 太平洋を渡ったもうひとつの夢  
～藤本章 半世紀～  
(エコー出版社)



著者：渡辺 正清

- ミッション・ロード (潮出版社)  
第十回潮ノンフィクション賞授賞
- ゴー・フォー・ブローク! (光人社)  
～日系二世兵士たちの戦場～
- ヤマト魂 (集英社)  
～アメリカ・日系二世、自由への戦い～
- 泣こよっか ひつ翔べ (南日本新聞社)  
～評伝 八島太郎～
- 評伝 長澤鼎 (南日本新聞開発センター)  
～カリフォルニア・ワインに生きた薩摩の士～



著者：サニー 関

- ゆこちゃんとダルマさん ■ 招き猫の話 ■ 日本最後のカッパ
- こげしの話 (Tuttle Publishing)  
～日英両語、日本の新話絵本～



著者：鈴木 敦子  
 ■ かけがえのない感動  
 ~私の木曜随想~  
 (日米出版)



著者：スティーブ 鮫島  
 ■ 天皇を救った男 (南方新社)  
 ~アメリカ陸軍情報部・日系帰米2世 伊丹明  
 戦後史最大の謎、天皇存続~  
 ■ THE GREAT TYCOON YOZAN  
 ~The only Japanese the late John F.  
 Kennedy ever respected~  
 (Big Wave Publishing Company)



著者：キム アンナ  
 ■ 牡丹江 理恵13歳の夏  
 ~13歳の朝鮮人の少女は何を思  
 い何を感じたか~ (とうか書房)



著者：カオリ 奈良ターナー  
 ■ メイクアップハリウッド (角川書店)  
 ~日本人メイクアップ・アーティストが見  
 た素顔のアメリカ映画界~  
 ■ Make Up Life  
 ~女性力を上げる50の言葉~  
 (SoftBank Creative)



著者：石口 玲  
 ■ 女70歳のアメリカ人旅  
 ~ルート66から始まる大陸走破11100キロ  
 笑い、怒り、涙の紀行記~  
 (新葉館出版)



著者：神谷 多津子  
 ■ 過ぎし日の春は満州の彼方に  
 ~祈りを込めてつづった満洲引き揚げの  
 記録~ (星雲社)



著者：入江 健二  
 ■ 家庭内捨て子物語 (論創社)  
 ■ リトル東京入江診療所 (草思社)  
 ■ 70歳からの健康法 (論創社)  
 ~年をとることは色々あって面白い~  
 ■ 万里子さんの旅 (草思社)  
 ~ある帰米二世女性の居場所探し~  
 ■ リトル東京でゆっくり診療十七年 (草思社)  
 ~日本の医療へ警笛を鳴らす名物ドクターの奮戦記~



著者：大倉 直  
 協力：ミコ・ハゴット・ハンソン  
 ■ 六市と安子の小児園  
 ~日米中で孤児を救った父と娘~  
 (現代書館)



著者：野本一平  
 ■ 野米利加日系崎人伝 (弥生書房)  
 ■ 箸とフォークの間 (邑書林)  
 ~アメリカの片隅から~  
 ■ 信州の空・カリフォルニアの風 (小沢書店)  
 ■ 夢・海を渡る (南日本新聞社)  
 ~カリフォルニア移民の父・内田善一郎伝~  
 ■ 八島太郎 (創風社)  
 ~日米のはざまに生きた画家~



# 本と対話する 読書術

若尾龍彦

若尾龍彦

松山商科大学卒業後、駐在員として渡米。その後独立し会社設立。在外投票の実現とアジア系商工会議所連盟の結成に尽力。2009年に帰国。現在日本在住。



中国の武漢から発生した新型コロナウイルスが、一気に世界へ広がっていきましました。コロナウイルスはその後もDNAの一部を変容させながら一向に収束する気配は見えません。マスク着用や外出禁止、自粛でシニアの皆さんも自宅での読書の時間が増えたのではないのでしょうか？

さて読書ですが、若い時に名作と言われる本を読んでもちっとも面白くなかったことがあります。ところが30歳の半ばを過ぎて再読すると、実に面白い。それは読み手がいろいろと体験や知識を積み重ねて鑑賞する力がついたからなのでしょうね。読書はその内容をそっくり自分の頭に移すことではありません。読者は自分の推理から仮説を立て、自分の過去の体験と知識を総動員して本の内容をあらゆる角度から自分で考えながら読んでゆく。そうすると納得できる場合もあり、新しい発想にたどり着くこともあります。これが読書を深化させる方法だと思えます。だから読書中は目以上に頭の中はフル回転して、「著者はこう書いているが本当にそうだろうか」「こういう考えもあるぞ」とか、本を受け身で

読むのではなく、「本と対話」するので

## 日本人とアメリカ人

以前LA在住時に、学生達を連れてLAPDのPolice Academyを見学させてもらいました。学生からの「様々な見学者を迎えて、アメリカ人の見学者と日本人の見学者にはどのような違いがありますか？」との質問に、「日本人の見学者はLAPDの人数や施設など具体的なことを聞きたがる。それに対してアメリカ人の見学者の質問は、WHY? WHY? と、なぜそうなっているのか? どうしてそうでなくてはならないのか?と聞く場合が多い。」

という答えが返ってきました。そこには常に物事の本質を追求しようとする姿勢が感じられます。日本人の各種の研修や見学会のリポートには、そこで見聞したデータが並べられています。「どうしてそうなのか?なぜこうであってはならないのか?こうしてみたらどうなるのか?」という本質に迫るリポートは少ないように思えるのです。

このように様々な情報を自分の知識倉庫に縦軸と横軸に位置づけて保管し考えてゆく、そのX軸、Y軸の交わるところが自分の考える原点であり自分の哲学だと思えます。この原点は経験を積み重ね知識が広がることで緩やかに動きます。原点を磨くことで考える力は鍛えることができるのだと思います。

## 与えられた時間

外出や旅行禁止でストレスが溜まりますね。しかし前述のように考えれば読書の面白が増します。この時期を貴重な与えられた時間だと歴史をたどり、生命の根源や人間の生きる意味を考えたり、社会のあり方・人の生き方を考えるチャンスとしてはいかがでしょうか？

また読書だけではなく、テレビの特集番組や映画の名作などのビデオなど文化を鑑賞する機会にもなります。やがてコロナウイルスが収束する時には我らシニアも精神的に一廻り大きくなって余裕と他者への気配りができるようになっていたと思います。





## ビブリオセラピー

「ビブリオセラピー（読書療法）」をご存じでしょうか。牧師でエッセイストでもあったサミュエル・マツコード・クローザー氏が提唱したもので、読書によって病気の治癒を図る心理療法の一つです。2013年、イギリスでは、政府公認で医師が精神疾患の患者に「薬」ではなく「本」を処方する医療システムが始まりました。当時は主に「自己啓発」のジャンルだったのですが、その後、哲学や、詩、ノンフィクション等の本を処方するようになり、今では小説がより一般的になったようです。たとえば物語の主人公が窮地に陥れば、その際の教訓を自分のことのように学び、主人公が最後にハッピーになれば、読者自身もハッピーになれるからです。

又、その時の気分と状況にあった本を選べば、リラククス効果やストレス解消に大変役立つという結果も報告されています。

## 想像力の鍛錬

脳生理学者の酒井邦嘉氏によると、読書は創造力がとても鍛えられるといえます。たとえば、川端康成の『雪国』の冒頭「トンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。」という文章を読むと、頭の中に雪景色を想像し「いったいどんな雪国だろう？夜の底が白いというのはどんな風景だろう？」とイメージが膨らみます。このように、文字の情報をもとに想像を膨らませたり考えたりすることは、想像力の鍛錬になり、思考の原動力にもなるといえます。

## 脳の活性化

医学博士の川島隆太教授によると、本の黙読により、視覚情報を処理する「後頭葉」や思考・想像性に関わる「前頭前野」など、脳のさまざまな部位が活性化されるといいます。川島教授が2003年に発表した資料によると、特に音読は脳を活性化させ、学習効果を2〜3割向上させることが期待できるとのことです。これは、音読では「発声する」「自分の声を聞く」というプロセスが加わるため、黙読よりも複雑な情報処理が必要になり、脳をフルに刺激できると考えられるからです。又、音読の速度が速ければ速いほど、脳はいっそう激しく活性化することです。時には速読してみるのも良いかもしれません。



宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことができる。～ウォルト・ディズニー～



本を読むことを止めることは、思索することを止めることである。～フョードル・ドストエフスキー～



君たち、漫画から漫画の勉強をするのはやめなさい。一流の映画をみろ、一流の音楽を聞け、一流の芝居を見ろ、一流の本を読め。そして、それから自分の世界を作れ。～手塚治虫～



読書、なかんずく小説を読む喜びは、もうひとつの人生を経験することができる、という点にある。～山本周五郎～



良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである。～デカルト～



読書家の一族は、世界を動かす者たちなのだ。～ナポレオン・ボナパルト～



一冊の本に人生を丸ごと変えてしまう力があることを、みんな理解していない。～マルコムX～



僕は読書が大好きだ。もっと多くの人に本を読むようアドバイスしたい。本の中には、まったく新しい世界が広がっているんだよ。旅行に行く余裕がなくても、本を読めば心の中で旅することができる。本の世界では、何でも見たいものをみて、どこでも行きたいところに行ける。～マイケル・ジャクソン～

# 「荒城の月」 in paris

鈴木敦子



ヨーロッパは5月が旬(しゅん)だと言われるが、5月4日から2週間イギリス、オランダ、ドイツ、オーストリア、イタリア、スイス、フランスを巡るいい旅をしてきた。この体験をここに書くと思うが、さてどのようにまとめたものか、しばらく思いあぐねた。というのも、この目と耳とハートで見聞きしてきたことが、私の中でわんわん渦巻いていたからである。「いた」と過去形なのは、帰国して半月経った今、少しは落ち着き『ヨーロッパ後遺症』へと移行しつつあるからなのだ。いずれにしても、この旅が私の中で消化され、血となり、肉となることを願っている。僅か二週間とはいえ、そういえるだけのものを得たと思っている。それはこのグループについて優秀なツアーガイドの力によるところが大きかった。

JEANという四十代のフランス人だった。「クレオール系だから、自分のフランス語にはクレオール

の訛りがある」と言うが、それは我々にはかかわりの無いことで、それより彼の『フランス訛の英語』の方が、少なくとも私には問題だった。もちろん正確な英語なのだが、興が乗ってくると早口になって、やっぱりフランス人の舌なのだった。それはともかく、彼のスゴさは、全く徹底して「ガイド」らしくないところだ。どんな場面でも笑顔を絶やさず、親切に世話をしたが、それがいつも自然だった。

ブドウ畑を走り抜けるときはワインの話をしてくれた。彼の博識に、長い道中、少しも飽きるこたがなかった。それどころか、色々と吸収するのに忙しすぎるくらいだった。添乗の度に、恐らく同じ話をしているのだろうが、それを感じさせない新鮮さとユーモアがあつて、まるで、友達の話の聞いているようだった。彼はおしゃべりも上手で女性客はそのことをよく話題にした。

一行四十二名は、全米各地から

来ていて、殆どが夫婦という単位だった。友人同士というのは無かった。白人が八割、あとは中国系、日系は夫と私だけ。皆気持ちいい人達だった。帰ってきたら「どこが良かった？」と聞かれる。これはまた答えに窮する質問で、どの国にもそれぞれの歴史と伝統があり、人々が自分たちの国と生活を大切に暮らしていることに強い印象を受けた。しかし、教えて一つだけといわれれば、パリの街と答えよう。

朝早く、スイスのルサーンを発ち、山を越え、野をひた走って、夕方近く旅の最終地パリに着いた。バスの窓越しに目にしたパリ、マロニエの並木に円錐形の花が咲きさかっていたーその光景に胸を締めつけられるような懐かしさを感じたのを、どう説明したらよいだろう。

雑誌のグラビアで、歌で、本で、フランス映画で、私はあまりにも長くパリの街を恋しつづけていたのだろうか。その夜は、レストランで食事をした。オプシオンだったが、全員が参加した。誰の胸にも、これが別れの宴だという思いがあつたのだろうか。食事がデ

ザートに移るころ、一人のアカordeオン弾きが入ってきた。フランスの農民風に装った大人しそうな青年だった。誰も彼に注目せずお喋りを続けている。ローマのレストランでは歌手と楽師の四人組がカントゥオーネを歌いまくつたが、アコーデオンの一つは、いかにもインパクトに乏しい。

気の毒になって、何かリクエストしようと思った。ああ何がいいだろう。季節外れだけど「枯葉」だろうか、フランス語でなんて言うんだっけ、付け焼刃のフランス語などワインの酔いで頭の隅から消えてしまった。まよ英語で【AUTUMN LEAVES】笑顔で弾き終え、私のところへ戻ってきた。「ジャポネ？」と聞き「荒城の月」を弾きだした。そして立つて歌えと促すのだ。

思いきりよく立つのに時間はかからなかった。四十人も人の前で歌うなど、学校の音楽の時間以来という私が一心臓が飛び出しそうだった。この青年への義侠心、この歌をうたえるのは私だけだという日本人の血、そしてなにより、私はパリに酔っていた。みんな驚いたようだった。旅行中、口数が少なく、ガイドの説明を一心

にメモしているのを「まるで女学生ね」と言われていた私だったから。

歌い終わった時、拍手と歓声が起きた。もし、人々の心を打つことが出来たのなら、それは、この曲の美しさに他ならない、私はこの格調高い詩のことも伝えたいと思った。「ありがとう、これは私たち日本人が長く愛唱してきた歌なのです。この旅で、ライン川のほとりや、ハイデルベルクで見たような古城、日本にも形式は違いますが、そんなお城があるので。詩人はその城に差している月の光を見ながら、人の世の栄枯、戦で死んでいった兵士などに思いを馳せて、この詩を作ったのです」

これがきっかけとなって次々と歌う人が出て、JEANも「セ・シ・ボン」をうたい、最後は『FAULD LANG SYNE』（蛍の光）の大合唱となった。私は皆が表してくれた友情と、この歌声を忘れることはないだろう。そう、パリの夜は私に最高の思い出を作ってくれた。

一九九六年六月一三日 記



## 十六代目川柳の

### 川柳つれづれ草

#### 文学の秋

川柳が〈文芸〉であるか〈遊戯〉であるかの論争は、かなり長く行われてきたが、〈遊戯〉と思う川柳家は、句会に明け暮れ、いっこうに歴史性や文学性に目を向けなかった。一方、〈文芸〉であると主張する一派は、「現代川柳」とか称して、狭い視野の作品を作ることで満足してきた。

それも今日においては、両者とも高年齢により議論するエネルギーすら見えていない。

文学の秋の夜長、川柳について、もう一度考えてみたいものである。

さて、川柳の発祥は、今から260年ほど前の宝暦7年8月25日。この日、「川柳評前句付万句合」として歴史が始まるが、これはある意味懸賞目当ての「興行」だった。誰も〈文学〉などということを意識することもなく、金持ちの文化的遊びとして行われた。

すなわち、遊びとして川柳は出発したのである。

#### 孝行のしたい時分に親はなし

などという成語や諺として世に広がる作品も生まれ、明治30年代の新川柳曙光期、阪井久良伎翁らによって古

川柳の文芸性が再認識された。

これが、〈文芸〉としての最初の認識であった。

そのすぐ後の明治40年代になり、西欧詩に影響を受けて「川柳を詩にしたい」といった若手川柳家の出現により、川柳論も生まれ「川柳は遊び」としての位置づけばかりでなく「文学」「文芸」としての意識が高まり、後の「新興川柳」や戦後の「現代川柳作家連盟」の活動へと発展した。

結論は、川柳は〈遊戯性〉もありまた、〈文学性〉も持ちうる表現世界であるということだ。

わずか「十七音」の中に長編の文学にも匹敵する世界観だつて盛り込む事も夢ではない。

それには、作者の意識が大切で、句会で入選する事ばかりを目的とする、選者や読者に媚びた作品ばかりを生み出し、新しい感動や発見、表現を蔑ろにしてしまう。

文学は、一回性のものであり、人真似や自己の成功体験の模倣も許されない。そんな厳しさがある。秋の一日、身近で簡単な川柳について考えてみて欲しい。

#### 言霊の「コントレイル」をのひらに



十六代目  
櫻木庵 尾藤川柳

届けたい

# 親への思い

「親への思い」

ギドリー 正子

ジュエリー デザイナー

チーンと鐘の余韻が消えないうちに夫のピートが私の背後で一緒に手を合わせてくれていきます。ピートの上にある小さな両親の仏壇に「今日も元気で過ごします。ありがとうございます」と

「正子！お客様を立てたまま自分が座って居るのは失礼だ」と父は私を叱りました。

胃癌の末期で痛む父の足を病室の冷たい床に膝をつき、揉んであげていた時です。寝ていた父からは私は座っているように見えたのでしょうか。朦朧とした意識の中で見舞いに来て下さった方々に娘の無礼を詫言びました。

その夕刻、急に「正子、赤ちゃんはどっちだ？」と聞くのです。

妊娠していなかった私は返事も出さずにただ父の顔を見つめるばかり。すると「もう日本語は話せないのか？」と問い、突然「You baby boy, girl.」と知っている限りの英語の単語を並べて聞きました。付き添っていた母から答えてあげると言われ「男の子だった」と応えました。それから「よかった、よかった」とそれが最後の言葉でした。

実家で最初の子を流産した時の父の慌てふためき、悲しんだ姿が思い起こされました。一人息子の夫の家族に後継ぎをと心配していた父でした。それから二時間ほどたった夜6時12分、父は息を引き取りました。

無事長女出産の電話を日本に入れた時は丁度父の三回忌を迎え、



ギドリー正子さんのご両親

家族全員が集まっていたところでした。予定日より一週間程早く父の命日に、しかも死去した6時12分に長女は生まれました。電話口で泣いて喜んだ母が「お父さんの贈り物だ」と何度も言っていました。戦後の苦しかった生活を誠実に懸命に生き抜いた両親から受けた最大の贈り物でした。

両親からの結婚承諾を待っていた数か月間のある日、母から小さな立ち雛をそつと手渡されました。後日、立ち雛には二人を認める、応援するという意味があることを知り、難しくもあろう国際結婚への旅立ちに、真剣に忍耐強く立ち向かう姿勢を無言で教えてくれた母でした。

戦後警視庁で教鞭をとっていた父が、警察のやり方に賛同出来ず辞職し、慣れない商売を始めました。石焼き芋を冬に、夏にはアイスクャンデーを作り売りしました。その後小さな乾物屋を開きましたが両親の生き方に感動した『主婦の友』社が二人の人生の歩みを載せてくれました。

子供が買い物に来るとお釣りを自分で計算させ、釣り銭を盗らから取らせました。ある中学生がお金を盗んだ時も優しくハッキリと悟らせ導き、その子の学校から町の教育者と呼ばれ、生徒達は私の両親の店には寄り道しても良い許可がおりました。その子は卒業しても両親を訪ねて来ました。厳しい親でしたが愛情たっぷりの素晴らしい親でした。そして、誠実に謙虚な両親でした。

親が健在であつたうちに何故「お父さん、お母さんありがとう」ともつと言つてあげなかったのかしらと悔みます。

## 「母は僕の目の前で一度死んだ」

井上良平

和楽器ユニットAUNJ  
クラシック・オーケストラ  
リーダー 和太鼓

「この風に吹かれて」という曲が出来るまで、この言葉が浮かんで消えていた。ここで赤裸々に告白しなければならぬと思う。これを共有するべきかどうか、悩んだけれど、こういう気持ちがある僕が音楽だっただけを伝えたかったからだ。すこし長くなるけれど、書き留めておく。

### 「この風に吹かれての秘話」

数年前に、僕の家族と姉と両親で旅行に行ったときのことだ。すでに認知症の症状があり、すこし夜更けに徘徊することも知っていた。でもこのときは、普通に話すことも出来たし、またケタケタとよく笑うし、何を見ても驚いたそぶりをするので、どこか安心もしていた。そして辛うじて僕の名前も言える状態だった。また5人兄弟のなかで最後まで覚えてくれたいたのも僕の名前だったことも嬉しかった。どこかその気持ちを隠しつつ、みんな笑いながら、母が記憶の闇に溺れてしまわないように過去の話で励ましていた。

レストランで夕食をし、部屋でゆっくりして、すこし遅い時間に寝ることになった。深夜に父に起こされた。「母さんがいない、すまん」と言った。まさかとは思ったが、部屋のどこにもいなくて、自分で部屋の外へ出て行ってしまったのだ。今回は、せっかくなことと、いいホテルを予約していた。部屋も広く、ホテルもかなり広い敷地で、僕は夜中に、ホテル中を走り回ることになったのだ。

かなりの時間を費やして探してもうだめかなと思つた矢先に、長い廊下の真ん中に、ぼつんと立っている母を見つけた。すぐに駆け寄つたが、目は壁の一点を見つめたまま、動こうともしない。僕は力尽くで母の腕をとり、連れて帰ろうとした。部屋までは、かなりの距離があった。すでに匂いでわかるほど小水と便がもれていて、とにかく誰にも見つかからないように部屋に連れて帰ることにした。(その夜、ホテルの方に、汚したことを謝った)

そしてみんなが心配する部屋に戻ることが出来て、母をシャワーに連れて行き、服を脱がせ身体を洗うことにした。嫁は私がやるか

らといったが、断つた。なぜか僕がやらなければならぬと思つたからだ。父は、もう慌てていて、「俺には出来ない」と弱音を吐いた。そんな父をみたのは初めてだった。その言葉も後押しして、年老いた母をくまなく洗い流しているとき、僕はなぜかこの時、「母は死んだ」と思った。このとき母はもうなにも覚えていなく、僕が誰かも分からなくなっていたからだ。毎日、認知症の薬は飲み続けていたのだが、それももう限界だったかもしれない。

このことがあって、少しの間か、長い時間か、立ち直れないほど、精神的にショックを受けていたのを、のちに嫁の口から聞くことになる。その時から、心のどこかで母が死んだことを思うようになった。不謹慎かもしれないけれど、僕のなかで母は一度死んでしまったのだ。

曲を作るときに、どうしてもこのことが頭から離れることはなかった。心のなかで、泣きながら「この風に吹かれて」の歌詞を書いていた。

いまも大阪にいる母は元気だ。

いつも父の電話では、そのことを聞くのだけれど、元気だっただけを知るとほっとする。母とは電話で話せないけれど、きつとニコニコして元気なんだろうなって、きつと嫌なことも心配ごと、何もかも忘れて、幸せそうなんだなって、そう思うようになっていった。5人も子供がいて、いつも心配ばかりしていた母だったから。

いざ母はもう一度、死ぬ。そのときは大声で泣こうと思う。

#### AUNJ CLASSIC ORCHESTRA

「1000年続く和の音を、1000年先まで伝えたい。」をコンセプトに、2008年に和楽器のみで編成されたユニット。リーダーの井上良平を中心に、和太鼓・三味線・箏・尺八・篠笛、それぞれの第一人者である邦楽家7人が集結。誰もが楽しめるコンサート、楽曲を提供している。

【YouTube】

<https://www.youtube.com/watch?v=ovKweafzsb0&feature=youtu.be>

鶴亀 彰



# 日系二世兵士たちへの尊敬と感謝

ローマの北、ミラノの南、港町として知られるジェノアと斜塔で有名なピサとの間に、ピエトロサ

兵のお姉さんの横山八重子さんの姿もありました。

## 《サダオ・ムネモリ上等兵》

1922年8月にロサンゼルス

日系兵士の方に転がっていた敵の手榴弾を眼にした彼は自分の身は構わず、その手榴弾の上に身を投げ出し、二人の戦友の命を救ったのでした。

また米海軍は輸送船の一つをUSS Private Sadao S. Munemoriと命名しています。

## 《日系二世への名誉勲章》

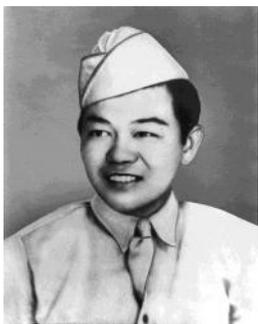
す。2000年4月25日、この町はただならぬ賑わいで盛り上がっていました。イタリアにおいては毎年4月25日は「イタリア解放の日」として祝われているのですが、この年は格別でした。ピエトロサ市はドイツ軍から解放して呉れた日系二世兵士達への強い感謝の思いを持ち続けているのですが、彼らの代表として、米

で生まれたムネモリ上等兵は1945年4月に戦死した時、22歳でした。彼は真珠湾攻撃以前に入隊し、MIS (Military Intelligence Service) で一時働いていました。その後、第100大隊に参加し、フランスやイタリアでドイツ軍と戦っていました。フランスのボージュ山中でドイツ軍に包囲され全滅の危機にあったテキサス部隊を救助した後、イタリアでの戦いに参加していたのでした。頑強に抵抗するドイツ軍との激しい戦闘の中で、塹壕の中にいる二人の

欧州の戦地に向かう前、彼はマンザナーで収容されている母親を訪ねます。母親は「日本人として恥ずかしくないように、あなたの国アメリカのために戦いなさい」と送り出したそうです。その時、彼は母親の写真を一枚貰い、戦地に赴きました。彼の戦死後、血まみれになったその写真は母親の手に戻されたそうです。ムネモリさんの偉大な献身に対し、ピエトロサ市の銅像以外にもいくつかの顕彰がなされています。身近なところでは、405フリーウェイから105フリーウェイを結ぶインターチェンジがSadao S. Munemori Memorial Interchangeと名付けられています。ロサンゼルス市のボイルハイツ地域のエバーグリーン墓地の中にも彼の銅像があります。

イタリアでムネモリ上等兵の銅像除幕式が行われた二ヶ月ほど後の2000年6月21日、ワシントンのホワイトハウスでアジア系アメリカ人兵士22名に対し、ビル・クリントン大統領から名誉勲章が授与されました。中国系とフィリピン系一人づつでしたが、20名は日系二世兵士達でした。名誉勲章は「戦場で自己を犠牲にして、正常の義務を超えて勇敢に戦った功績」に対して与えられるものですが、当然与えられるべきだった名誉勲章が東洋人に対する当時の偏見や差別意識のため、ムネモリ上等兵以外は除外されていたのでした。その過ちを訂正するのに、半世紀以上の時間が掛かったのです。クリントン大統領は「ハワイと本土の日系二世が、み

その除幕式が盛大に開催されたのでした。銅像は地元市民の浄財で制作されたものでした。除幕式には米伊両国の政府関係者や軍代表、米国から飛んできた日系二世の元兵士ら50名とその家族70名、そして地元市民の800名以上が参加しました。ムネモリ上等



Sadao Munemori 上等兵  
(ウィキペディアより)



ずから進んで武器をとり、アメリカを守るために起ちあがった事実  
は、まったく驚くべきことであ  
る」と、日系二世が示した自由を  
守る愛国心を称えています。この  
名誉勲章授与式典のビデオはクリ  
ントン大統領ライブラリーのアー  
カイブで観れますが、その中には  
故ダニエル・イノウエ上院議員の  
姿もあります。クリントン大統領  
はイノウエ議員に対し、敬礼し、  
彼がサダオ・ムネモリ上等兵と同  
じようにフランスとイタリアの戦  
場で442部隊の一員として戦  
い、腹部に傷を受けながらも敵の  
機関銃陣地への攻撃を続け、右腕  
をライフル銃で撃ち抜かれると、

左手で手榴弾をつかみ、敵の陣地  
に投げ付けた勇敢さについて語  
り、しかし、その英雄が米国に帰  
還し、米国陸軍制服の姿で散髪屋  
に入ったら、「俺はジャップの散  
髪はしない」と断られたエピソード  
を語りました。またクリントン  
大統領は1946年7月15日に  
首都ワシントンで帰還した日系二  
世兵士達の戦勝パレードの後、ホ  
ワイトハウスで行われた式典で、  
ハリー・トルーマン大統領が雨の  
中、傘もささず、濡れながら、彼  
らを称え、「諸君は国家の自由の  
ために我々とともに戦った。諸君  
が成し遂げた偉業にアメリカ国民  
がどれほど感謝しているか、私は  
言葉では表現できない。諸君は戦  
地で敵と戦ったばかりでなく、ア  
メリカ国内の偏見とも戦った。そ  
して勝ったのである」と話した歴  
史についても語りました。紙面が  
ないので、詳しくは述べません  
が、米陸軍情報部 (MIS) の日系  
二世兵の活躍も特筆にあたりま  
す。こちらは日本語を話す帰米二  
世兵が中心でした。彼らは米軍の  
秘密兵器だとして、長年隠されて  
来ました。トルーマン大統領の挨拶  
から、クリントン大統領の挨拶

まで、アメリカで日本人に対する  
偏見や差別の本格的な解消には半  
世紀以上の時が掛かりましたが、  
現在では日系三世から七世まで自  
由を得ています。また戦後一世と  
呼ばれる私達もその恩恵に与って  
います。私たちが日系二世兵士達  
の犠牲と貢献に対し、尊敬と感謝  
を抱く理由です。

### 《帰還した二世兵士の願い》

日系二世兵士の歴史や遺産は、  
リトルトーキョーにある Go For  
Broke National Education Centerで  
知ることが出来ますが、サウスベ  
イのガーデナ市にも彼らの遺産が  
あります。それはGardena Valley  
Japanese Cultural Instituteです。そ  
こにNisei Veterans Memorial Hall  
という建物があります。帰還した  
二世兵士達が次の世代に日本語や  
日本の文化、大和魂を引き継ぎた  
いと願い、設立した建物です。一  
世達が建てた「モネタ日本語学  
園」を継承すると共に、日系コ  
ミュニティの永続的な発展を祈  
り、建てられたものでした。建物  
の前に立つ銅板には一世の忍耐  
力、勤勉さ、教育熱心を称えると  
共に、二世の戦時中の米国への貢



NISEI VETERANS MEMORIAL HALL  
(Gardena Valley Japanese Cultural Institute)

献を称える言葉がガーデナ、ト  
ランス、二つの市の市長と議員達  
の連名で刻まれています。ところ  
が、今回のコロナウィルスのた  
め、建物の維持費や活動資金の不  
足が生じているそうです。同会で  
ボランティアとして働いている、  
チャランポランの会の山田純さん  
から聞いた話です。ささやかなが  
らでも私たちに何か出来ないだ  
ろうかと考える日々です。

この記事の執筆には渡辺正清  
さんの『ヤマト魂』を参考にさせ  
て頂きました。



# 難聴手術の顛末

入江 健二

## 入江健二

1940年、東京生まれ。60年、東京大学入学。国立がんセンター、都立大久保病院を経て、71年渡米。UCLAで癌を研究。73年、日系一世対象の「健康相談室」開設。1981年、リトル東京で診療所を開業。



「また部屋を移るのかな？」

私が尋ねると、私の乗ったストレッチャーを押していたヒス・パニツクのお兄ちゃん(病院スタッフ)がなんと、「手術はもう終わりましたよ」「アレー、そうなのか！」

私は、驚くとともにホッとしました。全身麻酔でポツクリあの世に行ったりはしなかったようです。ホッとした私は、すぐまた眠ってしまいました。

その日の夕方、リカバリー室で二時間ほど休み、私は妻の運転で帰宅。家に着くまでの車中で、まだボンヤリした頭のまま、その日行われた「日帰り手術」に至るまでの長いプロセスを思い出していました。

## (1) 難聴の経過

左耳の聞こえが悪くなったと意識し始めたのは、七〇歳(二〇一〇年)になって間もなく。左耳に電話の受話器を当てて、右手でメモをとる習慣にしていたのですが、右耳へ変更。人との会話でも相手へ右耳を向ける習慣に。そのうち右もだんだん悪くなり、家で妻との会話が困難かつ険悪になり始めました。

妻に懇願され、やっと耳鼻科を受診したのが七二歳頃。はじめは抵抗しましたが、とうとう説得されて左耳の補聴器を使い始めたのが、その一年後くらい。やがて右も。補聴器代は両側合わせて三〇〇〇ドル弱。

取が、普通の聴診器では難しくなったためでした。が、その機能に限界ありと知ったとき、私は引退の潮時と悟りました。

## (2) 手術への決意

あれこれと道具を使っても、解決せぬ問題が私の難聴には多々ありました。レストランやパーティーでの会話がダメ。会議でのディスカッションがダメ。これは、周囲の雑音が補聴器を通して大音響で入ってくるためです。同席の一人にワイフ・クリップ(マイクロフォン)を下げてもらえば、その人の発言はキャッチできます。しかし、複数の人に下げてもらうための技術は、まだ開発されていません。そして、音楽がダメ。どんな名曲も、左右の耳からの音量、音質が微妙に異なるため、雑音になってしまふのです。

七〇代後半に入ってから、なんとか他の方法で聴音能力を高めたい、と希望するように。二〇一八年に入って読んだ教科書に、「最近では、難聴手術として最も成功率の高い『蝸牛殻インプラント』を従来型の補聴器と併用する

人が増えてきた」とありました。この時も妻に相談。すぐに説得され、掛かりつけの耳鼻科医の紹介で同手術の名人と称される専門医を受診。

二〇一九年四月の引退前から「この手術に適切なケースか」を判定するための諸検査開始。精密な聴音テスト、CTスキャン、バランステスト等々。長い間隔と長い待ち時間の検査が全て終わったのは、夏も過ぎて。結果は「非常に適切」。

前述の諸問題が解決するとの保証は貰えませんでした。手術を受けようという決意。その理由は、それまでには左側がとても悪くなっており、「もしウツカリ長生きして右もダメになったら、頼れるのはインプラントだけになる」との判断でした。

## (3) 手術のこと

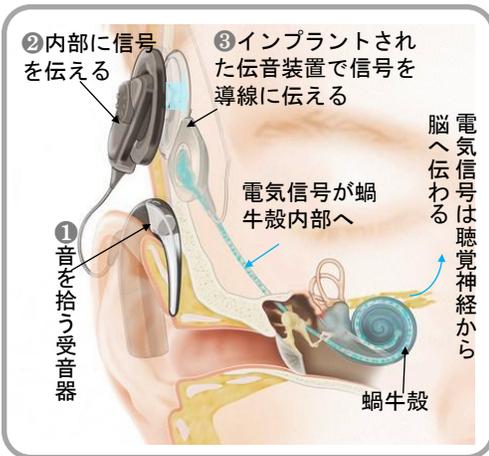
### ■ 手術名

蝸牛殻インプラント

(Cochlear implant)

### ■ 手術日

二〇一九年十一月十四日



外からの音は、①耳介上部に装着された小さな受音器を通してまず高周波の電氣的振動音に変換さ

れ、②頭皮外部の磁石（二五センチ玉大）へ伝えられます。この電氣的な音波はすぐ③皮下の磁石付き伝音装置を介して導線に伝えられ、蝸牛殻内部の聴神経末端の電極に入って、遂には大脳の聴覚領域に到達する、という仕組みです。

### 手術内容

ほとんどすべてが顕微鏡下の手技である手術は、①耳介（耳たぶ）上部の側頭部皮下（私の場合は左側）に外からの音を伝える磁石付き伝音装置を埋め込み ②外部からの音波を運ぶ導線を内耳の蝸牛殻（かぎゆうかく）まで伸ばし ③蝸牛殻内部に聴神経末端に接続する電極を埋め込む、という三つの部分から成ります。

### 場所

LA市内セントビンセント病院

### 執刀医

ウィリアム・スラタリー医師  
(William H. Slatery, M.D.)

執刀医のスラタリー医師は、耳専門医のグループとして世界的に著名なLA市内 House Ear Clinic

(電話213・483・9930)所属で、中年の温厚な紳士。

### (4) 術後経過

リハビリ室ではウトウトするばかり。帰宅後一時間ほどして、急に強い吐き気に襲われました。が、吐かずになんとか持ちこたえました。夕食は、オカユを二口三口だけ。翌日、ヴァン・ゴッホが耳を切り取った後で巻いていたような包帯を自分で除去。その頃から、食欲不振の他に傷口の痛み、頭痛、軽いメマイなどが始まりましたが、食欲から徐々に回復。一週間で全て解消。

十一月二五日、スラタリー医師による術後検診。五秒くらい傷口を見て、「あ、とてもいい」で終わり。

### (5) リハビリ

手術後約一か月の十二月九日、聴覚検査技師の手でコンピュータ操作が行われ、私の蝸牛殻インプラントが始動。初めて新システムによる音声を聴きました。驚きました。それは、ロボットの発声そのもの。人が私の目の前で発する言葉に、全く抑揚がないのです。いや、

自分がロボットになったような気分になりました。従来型の補聴器も付けた私に、検査技師がこう宣告しました。「一定の効果が感じられるようになるまで約半年、リハビリ効果が上限に達するまで約二年かかります。頑張ってください」

リハビリの内容は、大別すると①インプラントだけの時間をなるべく長く②テキストを用いての単語・文章の聞き取りトレーニング、の二つ。②のトレーナーには、妻を任命（他にチョイスなし）。

リハビリ開始後八か月現在で言えることも、二つあります。①従来型を併用すると、従来型だけよりマシ②インプラントだけだと、従来型の方がマシ。妻という名のトレーナーとのバトルを通して言えることが、これだけです。レストランや会議の会話、まだ駄目です。

### (6) 経費のこと

術後しばらく経って送られてきた説明書を見て、椅子から落ちそうになりました。仰天しました。十一月十四日一日分の病院側請求総額十二万六三〇〇ドル。その内、手術料一万四六〇〇ドル、麻酔費二八五〇ドル、内側と外側の器具費（インプラント代）合計九万七五〇〇ドル、その他（手術室代、薬品代、点滴料、器材費、リハビリ室代など）一万一三五〇ドル。これに対し、メディケアと

サプルメント保険からの支払い総額三万六六六〇ドル。

差額が、なんと八万九六四〇ドル。「あ、やっぱり手術受けるのやめます」と言いたくなる額でしたが、時すでに遅し。実際には自己負担はごくわずかだったのですが、そこには、私はまだセントビンセント病院のスタッフだったことによるディスカウントがあったと推定しています。

この手術を希望される方には、手術を決意なさる段階で、自己負担の確認をシッカリされるようお勧めしておきます。

### (7) むすび

どなたかに「手術受けてよかったか？」と尋ねられたら、私はきつと「期待したほどではなかった」とまず答えると思います。しかし、自前の聴力が両側とも全滅したら蝸牛殻インプラントによる聴力のみ残ることを考えれば、「やらざるを得なかった」とも感じます。リハビリによる効果が上限に達するまでまだ一年以上。頑張るしかありません。

また、耳介の上に装着する受音器は二年ごとに改良されるとも聞いています。そこに期待する気持ちも十二分にあることも認めないわけにはいきません。



土田 三郎



# 親父とおふくろ

## 《三つ子の魂百歳まで》

私は山形県酒田市で生まれ、緑豊かで美しい大自然に囲まれて少年時代を過ごせたことに感謝しております。家族は四男五女(自分は三男)に両親を含めて十一名の大家族の農家でした。親父は明治四一年生まれで幸弥(こうや)、おふくろは明治四十三年生まれで歳亀美(ときみ)と言います。戦時中のため食料は飢饉状態で、大家族の我家はさらに困窮しておりました。幼児の私は、おふくろの乳が出ないので毎日お腹を空かして泣いていたとのこと。家族で優先的に自分に重湯を飲ませてくれたようですが、栄養失調のために虚弱体質となり、外で遊ぶよりは家中で静かにしていました。

我が家の曹洞宗の法事では、眩い

袈裟を羽織るお坊さんが読経に訪れます。子供の自分はおふくろの側で正座し、神妙に読経に聞き入りました。木魚のリズミカルな音とリンの高い響きが流れるように交差し、荘厳な読経の唱えが子供の心を刺激します。

子供のくせに私は、読経の真似事が好きでした。暇があれば、仏壇の前に座布団を敷き、風呂敷を袈裟代わりにして鎮座し、「ナンマイダー、ナンマイダー」と呪文を唱えて、悦に浸っておりました。「三郎は何処にいる？」と姉たちが探すと、決まって仏壇の前で呪文を唱えておりました。これは「三つ子の魂百歳まで」でしょうか。



## 《酒に飲まれるな》

小学生の頃、親父が戦地から戻りましたが、なぜか毎日朝から酒

を飲んでいました。兄貴の話では、戦地の体験がトラウマとなり、酒に溺れて身上をつぶしたとのこと。大家族を支える働き盛りのはずでした。このためおふくろと兄貴は、所有する田畑を切り売りしながら親父の酒屋への付けを支払い、同時に家族を支えるために、日の出から日の入りまで長時間の労働でした。駄馬を追う兄の姿は、親父の背中と錯覚するほどに頼もしい姿でした。子供たちの任務は、屋敷の清掃、馬小屋の糞出し、山菜や川魚など食べ物となるもの何でも採ってくることでした。近くの川のカニは特別なご馳走となりました。

ある晩、親父は酒乱で暴れて家中を滅茶苦茶に壊したことがありました。子供にはとても強烈な印象でした。たまりかねた兄姉たちが一緒になって、「あんな酒乱の親父とは離婚してくれ！」と、おふくろに詰め寄りました。おふくろは、皆を見廻してから静かな声

で「あんたらがいるから離婚はしない。親父は自分が世話をする。だから、皆と一緒にこの家を守ろう！」とキツパリ言いました。これ以降、暗かった我家が少しずつ明るくなりました。

「自分は、親父の子だから大人になったら酒を飲むだろう。しかし親父のような酒の飲み方は絶対しない！」と、子供心に決めていました。

## 《丁稚奉公》

また、自分が小学校を終える頃に、「三郎、おまえは中学を出たら丁稚奉公に行け！」と親父から再三の指令がありました。親父の口減らし方針です。心の中では「親父め！」と思っていました。が、「家を出るといふならば、海外に出るのも同じだろう」とも思



秋の最上峡

い始めました。親父への反発で  
す。幸いにこの反発がプラスにな  
り、自分は中学生になると英語と  
国語が得意になりました。同時に  
自分の活発な校内活動を知る人が  
次第に多くなり、これが家族にも  
知られるようになると、親父は丁  
稚奉公は言わなくなり、無罪放免  
となりました。そして、厳しい家  
計でも姉たちの後押しにより、高  
校進学も黙認されるようになりま  
した。持つべきは家族だなぁ、と  
少し大人の気持ちで感謝してお  
りました。

一方、親父はその後に酒が原因  
で体調を崩して長期入院となりま  
した。私は、農作業の合間に献身  
的に親父の世話を続けるおふくろ  
の姿には、夫婦の絆を感じてお  
りました。

### 《他山の石》

私は、結局親父と何の相談の機  
会がないまま、東京の会社に就  
職。若さで徹夜を何度もこなしま  
がら、率先して働きました。お陰  
で、計画していた東京の大学進学  
と次の欧州の留学をどうにか完了  
することができました。そして、  
東京に戻り再就職して結婚。親父

に今までの疎遠を詫びるために、  
娘を含めて家族三名で病院に見舞  
うことにしました。親父にとつて  
は、孫との初対面でした。親父は  
寡黙でしたが、目は微笑んでお  
り、これが親父への最後の孝行と  
なりました。

医師から予告されていたように  
一九八二年十一月に親父は享年七  
四歳で病院で永眠しました。結核  
による長い闘病生活でした。葬儀  
では「俺と同じような真似をする  
な」と言うのが、親父の遺訓でし  
た。私にとつては、これが「他山  
の石」となりました。自分の不惑  
の四〇歳の一年前でした。

### 《おふくろは太陽》

私が、ロサンゼルスへの赴任準  
備をしていた一九九〇年一月に、  
今度はおふくろが心臓麻痺で他界  
したとの悲報が届きました。実家  
に急行すると、葬儀の準備ができ  
ていない状態で、茶の間に一枚の  
敷布団に冷たくなったおふくろが  
静かに横たわっておりました。享  
年七九歳でした。

おふくろの穏やかな永眠の表情  
を見ていると、親父の場合とは真

逆で、走馬燈の如く思い出が巡り  
巡って、止めどもなく涙が溢れ出  
て嗚咽しました。涙を流したまま  
で親戚一同が見守る中、おふくろ  
の冷たくなった手を両手で握りな  
がら、誰に憚ることもなく、惜別  
の情感の赴くままに地元の唄「最  
上川舟歌」をゆっくり唄い始めま  
した。

周りの人たちは私の唄に合わせ  
て囃子で静かに声を合わせて下さ  
いました。私は二番まで唄い終  
わって、握っていたおふくろの手  
をそっと放し「今までありがとう  
ございました」と言葉にして、お  
ふくろに感謝の気持ちを伝えなが  
ら合掌しました。  
その頃に涙は止まりました。そ  
して、自分の心に新たな意思が生  
まれました。

「私を見守ってくれていた、お  
ふくろもいなくなった。これから  
は誰に頼ることなく、自分の力  
で、もつと強く生きることにしよ  
う！」と自分に言い聞かせまし  
た。既にロサンゼルスへの赴任が  
決まっていた時でした。葬儀を終  
えて、兄貴が私に声をかけてきま  
した。

「三郎、最上川舟歌を唄ってく  
れてありがとう。おふくろも喜ん  
でいたよ！」

おふくろは、神仏を敬い、親父  
を最後まで支え、九人の子供たち  
を守ってくれた我家の偉大な《太  
陽》でした。

たらちねの  
母が釣りたる  
青蚊帳を  
すがしといねつ  
たるみたれども  
(長塚節)

私の思い出の歌です。

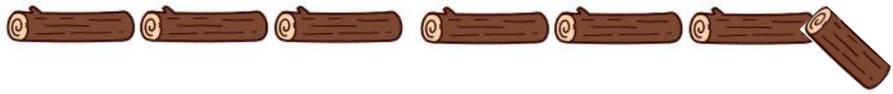


### 【現代訳】

母がつってくれた青い蚊帳の中  
で、さわやかで気持ちがいいな  
と思いつつ眠った。蚊帳はたるん  
でいたけれども。



日本海の夕日



### ④カリフォルニア州とネバダ州境 ローンパインLone Pine

ローンパインでは、有に500を超える映画が撮影されました。西部劇は勿論ですが、私の推奨は「日本人の勲章Bad Day at Black Rock」です。今は鉄道前のカフェが私宅として残されています。シエラネバダSierra Nevada山脈のホイットニー山Mt. Whitneyは実に多くの西部劇映画に映っています。中でも、雪を被るシエラネバダ山々の景色は美しく、決して忘れられません。



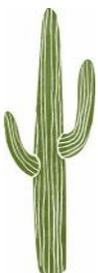
Lone pine Sierra Nevada Mountains

「真昼の決闘High Noon」の撮影地はサンタクリタSanta Clarita 近郊で、RT5からRT14に入るとすぐの「メロディランチMelody Ranch、別名ゴールデンオーク ランチGolden Oak Ranch」です。現在、

唯一の現存撮影地として使用されています。最近作は「ワンス アポン アタイム イン ハリウッド Once upon a Time in Hollywood」や「ジャンゴ繋がれざる者 Django Unchained」です。昨年訪ねましたが、撮影中のため見学できませんでした。因みに現在も撮影中のため、未だ見学できずにいます。

近隣のニューホール Newhall には無声映画時代の花形、ウィリアム エス ハートパーク William S Hart Museum があります。毎年4月末日にはカーボーイフェスティバルが行われています。又、ハリウッド ハイランドブルバードにある名匠セシル ビ デミル博物館Cecil Blount De Mille やロサンゼルス動物園前の歌うカーボーイ、ジーン オートリー博物館Gene Autry Museum 等もおすすめです。

この様に、ユニバーサル スタジオ等の大型スタジオではなく自然の撮影地を訪ねるのも、ハリウッドのあるロスならではの楽しみです。どうぞ、皆様もスマホやタブレット片手に検索しながら、訪ねてみては如何でしょうか。



# “かわら版”は WEBでもご覧いただけます!

インターネットで  
かわら版を!

charanporanusa.com

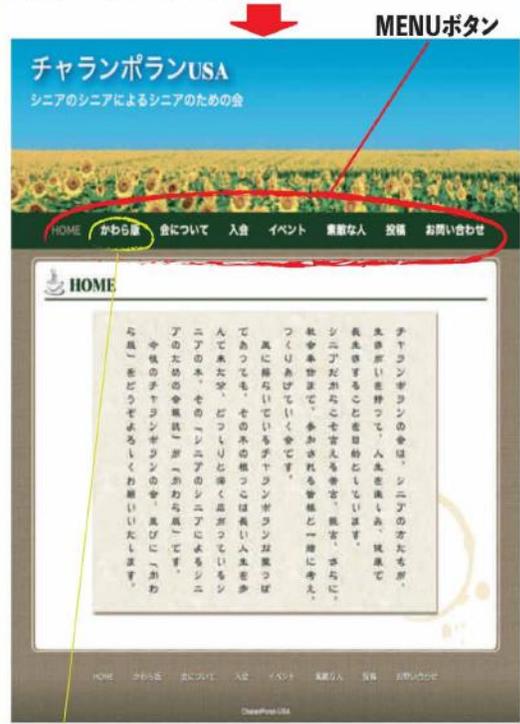
チャランポランの会発行「かわら版」を  
0号から最新号まで、オンライン(Web)で  
お読みいただけます。

2020年  
10月からは、毎週コラムやお知らせなど  
WEBでも楽しいコンテンツがスタート!

まずは、チャランポランUSA または  
charanporan USA で検索 (Yahoo,Bingでも可能)



クリック  
charanporanusa.com \*  
チャランポランUSA | HOME  
シニアのシニアによるシニアのための会. Menu HOME -かわら版- 会について 入会-イベント- 賛助会費- 投稿- お問い合わせ. HOME HOME -かわら版- 会について 入会-イベント- 賛助会費- 投稿- お問い合わせ. CharanPoran USA >



かわら版ボタンをクリックすると、



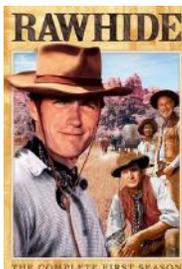
Webから、ご入会や  
投稿などもできます。



# 西部劇撮影地 探訪

長島 誠

シニアの方には1960年代に爆発的な人気を博した「ララミー牧場Laramie」や「ローハイドRawhide」をご記憶の方は多いと思います。当時、中学生だった私は兄に連れられて田舎の劇場で見た西部劇が昂じて、その撮影場所を見たい思いがつのり、遂に1979年渡米。実現に向けて始動しました。誌面の都合で多くは語れませんが、懐かしの映画、その撮影場所をご紹介しますと思います。



## ①アリゾナ州

### ツーソンTucson、「オールドツーソンOld Tucson」

あの著名な映画解説者、淀川長治さんがチョコンと座るベンチあり、同時に多くの名画もありの場所です。「リオブラボRio Bravo」「OK牧場の決闘Gun Fight at OK Corral」のテーマパークとして、いつ訪れても飽きない場所です。



## ②ユタ州

### モアブMoab、アーチーズArches National Parkとキャニオンランド国立公園Canyonlands National Park



My Darling Clementineの画面に映るビュート



この隣接地帯も有名な撮影地です。「リオグランデ砦Rio Grande」や「シャイアンCheyenne Autumn」もここで撮影されました。残念ながら未だ訪ねていませんが…。忘れてはならないのは、モニュメントバレー Monument Valley。ジョンフォードJohn Fordがこよなく愛した撮影地です。「駅馬車Stagecoach」を初め、ジョンウエインJohn Wayneの騎兵

隊作品や「マイダーリン クレメンタインMy Darling Clementine」があります。映画の中でこの事件はツームストーンで起きましたが、背景となった尖ったビュートButteはここです。場面の要所に尖ったビュートがよく映っていま



す。見逃してはならないのは、グランドテイトン国立公園 Grand Teton National Park内のテイトン山 Mt. Teton。あの有名な「シェーン Shane」の撮影地です。シェーンが決闘の後、去りゆくあのシーン…



“Shane! Come back!” あの先の岩山です。又、ジョン ウエインがB級ウエスタン映画からA級の「駅馬車」でデビューする前の大型スクリーン劇「ビッグトレイル



The Big Trail」ではテイトン山から流れるスネークリバー River Snakeが映し出されます。その名の通り蛇の様に渓谷から平原を流れ、動植物のオアシスとなっている川です。



## ③カリフォルニア州

### アゴラヒルズAgoura Hills、パラマウント・ランチParamount Ranch

「モロッコMorocco」、「ボージェスト Beau Geste」、「ベンガル槍騎兵The lives of a Bengal lancer」「バージニアンThe Virginian」、そして初期のゲアリー・クーパー Gary Cooper作品や西部劇が撮影されていま



Paramount Ranch studio



す。残っている建造物は少なくなりましたが、カメラアングル次第では当時を彷彿とさせてくれます。敷地内にはハイキングコースがあり、少し歩いて小高い丘に登ると撮影所の全貌が俯瞰できます。しかし、2018年11月の山火事で全燃しました。100年近くに渡ってハリウッドの様々な映画やドラマの撮影が行われてきた野外スタジオ「パラマウント・ランチ」が全焼したことは残念でなりません。大変悲しいです。

# みんなの広場

## そして僕は花屋になった

中村 猛  
アンジェラック

私はロサンゼルス近郊でアンジェラックという花屋を営んでいる中村猛です。早いもので花屋を初めて今年で30年を迎えます。その間、よく聞かれるのがなぜロサンゼルスに来て、花屋をすることになったのかという事です。それで、先ずは僕がなぜ花屋になったのかという事をお話したいと思います。

僕の実家は神奈川県鎌倉で花屋をしています。お爺さんの代からの古い花屋で今年72年目を迎え、お蔭様で現在も無事に営業しております。

物心がつく三、四歳ぐらいの頃の記憶を遡ると、最初は近所のお菓子屋さんに憧れて駄菓子屋さん、もしくはピーツと音を立てていい匂いのお芋屋さんに憧れていました。三輪車をひっくり返してまねごとをしたりして遊んだ思い出があります。今思えば両親を心配させたりした

んじゃないかなと思います(笑)。

仕事と言うのは、自分がとんとん惚れ込んで、三度のごはんより好きでないと、辛く、大変なものだと思えます。小さな子供、それも男の子にそれはないですよ。

生まれて初めてお花に関心があった出来事を思い出してみると、小学校の低学年の夏頃に参画するため、早起きして近所の駐車場の集合場所に向かう時です。家のドアを開けると目の前の隣家の塀に朝顔が咲いていました。普段はそんなに早起きしないので気が付かなかったのですが、濃い青々とした朝顔の花にふっと惹かれて、近くまで顔を寄せていくと、ラッパ状のお花は中心にいくにしたがって色が純白のグラデーションを作っていて、その上に大中小の水滴が真珠のように散りばめられているかのよう、又は、宇宙のグラフィックのようになっていて、それは、子供心に深い興味の対象になりました。



まあ、早朝に起き抜けだったので、寝ぼけた状態だったのかもかもしれませんが、しばらくじつと見つめるほどに感動した記憶があります。それで、ラジオ体操は遅刻して皆勤賞は逃し、鉛筆とノートの懸賞は貰えませんでした。今になればそれ以上に何かを身体に刻み込んだような気がしました。その経験は今でも忘れたことがありません。

それから、月日が経ち、その記憶は一時忘れてしまっていたのですが、今こうして生花店をしているのは、これこそが自分の原点なのかなと思ったりしています。お花は心を癒してくれます。そして、癒してくれるとい

う思いを持つ人の心も同じに美しいと思います。皆さんも、小さい頃のちよつとした一瞬が自分の心の奥底で一生涯歩み続ける事になる素敵な出来事があったのかもしれないね。

●中村さんは日本でも、米国でも多数の受賞歴を持つフローリストデザイナー。現在、カスタムデザインを初め、生け花を取り入れたアレンジのクラスもやっている。



藤本彰

公子

おたんこナース

タミー米田

ラーソン靖子

ミミ

●新コロナ 去ってくれたらお赤飯

●マスクせよ まずリーダーがつけさせ

●目に見えぬ 敵と戦う兵器無し

●コルカ谷 風とコンドルたわむれる

●笑いこけ チャランポランでうつつ晴れた

●もの忘れ まだまだましかコロナより

# リンゴの気持ち

國吉 信義

ちゃらんぼらんの読者は日英両語を上手に使い分けて生きていると思う。家庭では日本語、外(仕事、学校)では英語という人もいるでしょう。言葉は意思表示の手段だから翻訳ソフトを使っても用を足す。しかし、言葉は人と人の関係だから厄介にもなる。特に日本に住んでいる人との交流では問題が起こる。コミュニケーション・スタイルの問題で、翻訳の問題ではない。日本人同士なら曖昧表現でも通用する。「リンゴの気持はだまっけていてもよくわかる」だ。10のうち7言えばわかってくれる。しかし、米国に住む私はそうはいかない。イライラしてたずねると、これくらいもわからないかと軽蔑される。

言葉の問題はビジネスだけでなく、人間関係すべてに影響する。曖昧表現は日本の美德だが外国人にそれを習えといっても無理だ。今はグローバルの時代で英語が共通語になりつつある。英語は庶民の言葉として無理なく意思を伝えようとする。難しいことばや表現を使っ

有頂天になる人がいるが、最低だ。最近Facebookに読んだばかりのエッセイや論文をただ張り付けて「どうだ、私はこんなことも知っている。私に感謝しなさい」と言わんばかりの人たちがいる。自分の言葉で表現しないレイジーの人たちだと思う。以前、西田幾多郎をいくらか読んでもわからないと苛立ったが、わからないのは自分の責任ではなく、読み手のことを考えない書き方が悪いと思うようになってきた。

アインスタインは物理学の難しい理論でも相手の立場に沿って説明できないと、本当にわかっていないとは言えないと言っている。

ものを書くとき、読む相手の立場などを考えて書くように注意してほしい。

## リンゴの唄

サトウハチロー 作詞  
万城目正 作曲

♪赤いリンゴに  
口びるよせて  
だまっけてみている青い空  
リンゴはなんにも  
いわないけれど  
リンゴの気持はよくわかる  
リンゴ可愛(かわ)いや  
可愛いやリンゴ♪



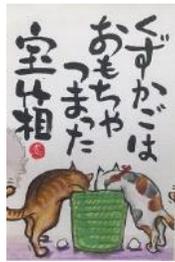
のりえ



紀恵



あけみ



恵子



井出半句

私が好きな「心得」という詩があります。誰が書いたのか、どなたからいただいたのかは忘れませんが、皆様にご紹介したいと思います。

中村恭子

「心得」

明日  
死んでもいいように  
百まで  
生きてもいいように  
考え 考え  
生きていこう  
食べたいものは  
食べておこう  
行きたいところには  
行っておこう  
会いたい人には  
会っておこう  
言いたい事は  
言っておこう  
人の役には  
立っておこう

# 素敵な人

## 見つけた

Vol. 5

## 佐藤芳江

### 2020年結婚50周年

1970年5月。米国から栃木に一時帰国していた洋食シェフのご主人とお見合いで結婚。2020年に金婚式をめでたく迎えました。

芳江さんは高校卒業後、東京の洋服店で働いていましたが、故郷の栃木でお見合いをし、芳江さんがご主人に一目惚れ。  
芳江さん曰くビビッと来たそうです。しかしこのお見合い、本当は親戚の娘さんに来たお話で、その方がお見合いをする前に断ったことから、芳江さんに白羽の矢が当たったそうです。  
しかし、芳江さんは結婚後米国に行くのが嫌で、5年後には帰国を条件とし、そのお見合いの3週間後に身内だけで結婚式を挙げました。母や姉弟は、調理人は飲む打つイメージがあり、外国に行つて捨てられるかも…と結婚に反対していましたが芳江さんは信じる事が出来たそうです。

先に米国に戻ったご主人から遅れて半年余り、芳江さんもシカゴに着物姿で空港に降り立つ芳江さんをご主人は多くの友達を連れて空港で出迎えました。素晴らしい友人に恵まれたシカゴでの生活も、高温多湿の夏と極寒の冬で、3年目に芳江さんはLAかSFへの引越しをご主人にお願いすることに。当時ご主人はシカゴの高級レストランで働いていましたが、芳江さんの希望を受け、LAの系列店でエグゼクティブシェフとして働くことになりました。ご主人はそれまで赤字だったこのLAのお店を黒字にし、1980年代には世界料理オリンピックの米国チームに日本人で初めて選出され、個人・団体、両方で金メダルを獲得。

この頃芳江さんはご主人を支えながらお子さん二人の育児に専念し、2002年にはParents of the yearを頂くなどとして、現在は、27歳と14歳のお孫さんもできました。感謝祭とクリスマスには敬老ホームをご夫婦で訪問し、ご主人が御馳走を、芳江さんが歌を唄うというボランティア活動も続け、その魅力的な歌声で1989年に初出場した西本願寺の米国版紅白歌合戦にも2020年で32回出場となりました。実はこの紅白出場も初めはピンチヒッターでの出場。また栃木県人会会長も2006年からピンチヒッターで引き受け今に至るそうです。しかし2014年Woman of the yearを受賞するなど、芳江さんの功績は周知のもの。ピンチヒッターではなく、唯一無二の存在です。

結婚を心配していたお母様も「芳江が一番幸せだな」と言ってくれたそう、芳江さんは、「まさか50年を迎えるとは思ってもみなかったけれど、初めて会った時と変わらず、自分よりも他人の心配をする主人を見て、私の目に狂いはなかった」と話します。

ご主人と二人三脚で続けられている日本の被災地でのボランティア活動もコロナ禍で訪問が出来ない今ですが、1日も早くコロナが終息して人々が安心して生活が出来、またボランティアも再開したいと話すその芳江さんの笑顔は、LAの青空の下、キラキラと輝いています。



## 【痴漢撃退のおはなし】 石口 玲

これは、私が高1か高2の頃の話です。私は三輪田学園という中・高一貫教育の女子校に通っていました。住んでいたのは中野。学校は中央線の市ヶ谷駅で下車します。昔の江戸城の外堀の上の土手公園を歩いて飯田橋方面に向かい、10分ほどの所にあります。春は桜が土手沿いに綺麗に咲きます。満開の薄いピンク色の桜並木の下を紺色の制服の女学生達が歩いて行く。まさに絵になる通学風景で、昨日の事のように思い出します。

さて、通学は鈍行の中野始発でお茶の水からは総武線直通となる電車で毎日通いました。この沿線には女学校が沢山あり、思い出だけでも10数校。三輪田、雙葉、白百合、女子学院、千代田、嘉悦、お茶の水、桜陰、跡見、麹町、共立・・・数えきれません。男子校は新宿高校、二松学舎、九段高校、暁星学園くらい。私と同年齢は今TVで重厚な役をこなす北大路欣也や現2代目松本白鸚（当時は染五郎）と同学年で、暁星の生徒です。よく一緒になったものです。信濃町から乗り込むのですが、北大路欣也はとつても目がきれいな美男子でした。白鷗の弟、現2代目中村吉右衛門（当時は万之助）は背が高く、駅に立っているだけで目立ったものです。

上記の如く女学生満杯の電車です。だから痴漢も多い！ウス気味悪いヤサ男や、変なおヤジも乗ってくる。別名痴漢横行電車。その日は一寸遅れて乗車したので座

れず、座っている友人が鞆を持ってくれました。吊革につかまり、友達と立っていました。私はテニス部員で、その日は新ラケット持参でした。変なおヤジが後ろにいる。薄々皆が知っている「痴漢常習犯」。案の定そのおヤジは電車の動きに合わせて、身体を押し付けてくる。お触りが始まった。そこでちょっと体を右に横滑りさせ、左手で脇に抱えているラケットを少しづつ上に引っ張り上げます。その親父も右に動く。仕方なく又左に戻り、今度はススッと早く動きました。親父は私について来れない。新宿駅到着寸前で、ガタッと大きく電車が揺れるのを知っている私。今だ！ラケットのてっぺんを右手で一気に入たたき、親父の急所めがけて打ち込みました！「ウツ、ウーツ」と唸った。ざまあみろ、この助ベエ野郎。ヤッタゼ・ベイビイ（当時そんな言葉はなかったけど）。自業自得。ラッシュアワーで混み混み状態。新宿駅到着。体丸めて降りて行った（新宿下車というのは周知の痴漢）。おヤジ、なめるんじゃねえよ。こちとら江戸っ子ダイ！気分爽快な朝でした。

今は昔、半世紀以上も前の我が懐かしの青春回顧録です。



▼米国の大統領選挙も気になる中、日本でも安倍首相退陣と、コロナ禍の2020年が誰にとつても否応なしの変化の年になっていきますね。チャランポランの会も交流会や小旅行など多くの企画実現が年内は難しくなりましたが、お楽しみは先延ばしし、皆さんには実現した際に笑顔でご参加いただけるよう、健康第一の日々をお過ごしください。

▼今回の素敵な人は佐藤芳江さんをご紹介しました。芳江さんがご主人の佐藤シェフを誇らしく思い、また大好きな様子、一方佐藤シェフも芳江さんのことを大切に想う気持ちを感じられ、その夫婦愛に感動しました。私は佐藤さんご夫婦を見習いながら金婚式までの38年！と思つたら、ため息。しかし、鶴亀さんから「夫のトリセツ（取扱説明書）」という本を紹介していただきましたので、多分何とかなるのでは、、、。（か）



▼読書の秋、芸術の秋、食欲の秋、どの秋が先かといえ、十代の頃は食欲の秋、二十代の頃はゲーテの詩のような恋心を綴る芸術の秋、と言いたいところですが、もっぱら美術鑑賞。30代以降は子育てと仕事でいつも真夏か真冬。今、やっと読書の秋。ジャンルもこだわらない。誰かが「良かった」と言う本を読んでみると、食わず嫌いと同じで、意外と面白く、なんだか、得した気分になる。

▼胸がジーンとした「親への思い」。思えば、他界した母の夢を最後に見たのはいつだろう。本当に「ありがとう」の一言に尽きる。母が亡き後、気丈だった父も痴ほうが始まり、今は施設にいる。思いだけが一人歩きするけれど、いつでも電話で元気な声が聞けるのは幸いだ。どんどん進むテクノロジーノロジー社会に情緒が損なわれるのではと心配する声もあるが、この便利なツールは手放せない。父に会いたいと切に思う秋である。（あ）



ちやらんぽらん

チャロンポロンの会は、シニアの方  
たちが、生きがいを持って、人生を楽  
しみ、健康で長生きすることを目的と  
しています。シニアだからこそ言える  
苦言、提言、さらに、社会奉仕まで、  
参加される皆様と一緒に考え、つくり  
上げていく会です。

風に揺らいているチャロンポロンな  
葉っぱであっても、その木の根っこは  
長い人生を歩んできた分、どっしりと  
深く広がっているシニアの木。その  
「シニアのシニアによるシニアのため  
の会報誌」が「かわら版」です。

今後のチャロンポロンの会、並びに  
「かわら版」をどうぞよろしくお願  
い申し上げます。

